

Spine Surgery and Related Research (SSRR)

第 20 回 (2023 年第 1 回) 編集委員会議事要録

令和 5 年 1 月 23 日 20:00～ Web 開催

参加者

担当理事: 筑田博隆*

Editor-in-Chief: 千葉一裕

委員長: 折田純久

委員: 岡田誠司, 川口善治, 中嶋秀明, 根尾昌志, 橋爪洋, 宮腰尚久, 山下一太, 渡邊慶

アドバイザー: 加藤真介, 長谷川和宏

杏林舎: 小嶋, 田村, 岡田

欠席: 高橋寛

1. 確認事項

前回議事録案の確認

2. 審議・確認事項

① SSRR Award について(山下委員, 資料 1～2)

・Best Paper Award 選考状況

DE の先生方にご推薦いただいた候補論文 15 編について、現在外部委員 (reviewer 上位者 5 名)、内部委員 3 名 (Editor-in-Chief、委員長、選考委員長) により採点中

結果が揃い次第、委員会の先生方にメールで御報告予定

・High Citation Award 選考状況

2021-22 年の被引用数が多い順にリストアップし、以下のように決定

RA1 篇

Imaging in Spine Surgery: Current Concepts and Future Directions

Harada, Garrett K.; Siyaji, Zakariah; Younis, Sadaf; et al.

OA2 編

Novel Titanium Cages for Minimally Invasive Lateral Lumbar Interbody Fusion: First Assessment of Subsidence

Kafft, Paul R.; Osburn, Brooks; Vivas, Andrew C.; et al.

Vascular Evaluation around the Cervical Nerve Roots during Ultrasound-Guided Cervical Nerve Root Block

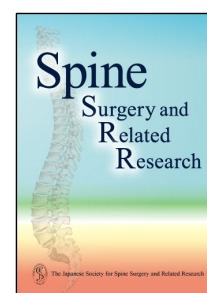
Murata, Shizumasa; Iwasaki, Hiroshi; Natsumi, Yuta; et al.

・Best Reviewer Award

2022 年 1-12 月に査読が完了した回数が多い順にリストアップ

査読回数 1 位の渡辺航太先生 (慶應大学) を受賞者として決定

Award 候補者を理事会に諮り、承認を得る。来年からは選考委員に対して、委嘱状を発行する



- ② SSRR Award にかかわるHPの改修について(杏林舎, 資料 3)
Awardの情報をHPに掲載する 2月くらいに改修予定としている

1. 毎年の受賞件数を1ページに掲載する 過去受賞歴は別ページに掲載
受賞者が分かりやすい 毎年更新が必要 費用が大きい(過去分アーカイブをつけると
20万円程度)
2. 過去 過去の受賞履歴も含めて全情報を1ページに掲載
年を追うごとにスクロールが長くなり、閲覧しにくくなる 費用は安い

杏林舎としては1を推奨 まず数年間、形式2で表示しておき、数年後再検討?
最新のAwardはトップページに、過去受賞分はPDFで毎年足していく形が better か
検索機能はブラウザ標準機能を使用
SSRRのHPにAwardの情報を掲載する JSSRにリンクを貼る予定
掲載内容としては、顔写真、受賞者氏名、所属、論種、論文タイトルとする予定
費用面を含めて掲載の形は、メール報告で投票する形となる

- ③ COI 申告開示様式の変更について(杏林舎, 資料 4)
e form から ICMJE form に変更するにあたり、実装方法を決定する必要がある
2022年版日本医学会の では共著者全員の提出が必要
1) e-form の設問を ICMJE 様式と同じ内容に変更し、著者全員からご提出いただく
方法が時代の流れとしては適切と考える
ScholarOne 改修にかかる費用は 20000 円

- ④ JSSR における受賞論文講演について
海外の先生が受賞者となった場合の扱いも含めて JSSR プログラム検討委員会で検討す
る
海外の受賞者の賞金は、小切手がよいと思われるが、税金についても確認が必要
(JSSR 委託会計士に問い合わせの方針)

3. 報告事項(杏林舎 資料 5, 6)

- ① 投稿状況 IF について
月平均の投稿数は 20 件程度と上昇傾向 海外からの投稿も増えている
暫定 IF は 1.1
自己引用は 7%とやや低い 国外からの引用も増加している
許容できる Publish は半年以内
IF 向上のため、掲載ストックを減らし、掲載数を減少させることも重要
そのために採用率をやや厳しくするよう査読をお願いする必要がある

- ② 特集号状況
OPLL ガイドライン、腰椎椎間板ヘルニアガイドラインなど順調に進行中

4. 次回会議について

2024年4月13日 7:00~(JSSR 総会時・対面開催)